



上尾市コミュニティ推進会議だより

発行 上尾市コミュニティ推進会議
事務局 上尾市本町三丁目1番1号 上尾市役所 市民協働推進課内
電話 048(775)4539 FAX 048(775)0007

第30号
令和4年3月発行



上尾市コミュニティ
推進会議
会長 山本 光男

各地区、各団体の皆様におかれましては、日頃より地域コミュニティの発展のためにお力添えを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当会議においては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、各地域では、事業の中止、延期、例年とは異なる形での実施などの模索を行う等、ウィズコロナにおける事業の構築に各地域が知恵を絞る一年となりました。

また、第53回シラコバト賞の推薦に関わる審査を行いました。

紙面にてご紹介しておりますが、多くの方々が受賞されております。

これは受賞者の方々が地域コミュニティを支えてくださった結果であると考えます。

最後に、地域にお住いの皆様の安全と安心を第一に、それぞれの地域で事業を展開できますよう、微力ながら協力をさせていただきます。

結びに、当推進会議をはじめ各地区の団体の皆様のご健勝を祈念して、あいさつとさせていただきます。

活づくコミュニティ 動くコミュニティ 紹介の会

各地区コミュニティ推進協議会では、令和3年度も、上尾市コミュニティ推進会議の助成を受けて、活発な地域活動事業を行いましたのでご紹介します。

●上尾地区コミュニティ推進協議会

上尾地区コミュニティ推進協議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年開催していた「歩け歩け大会」は開催せず、昨年引き続き各地域で公民館等に花を植える「上尾地区花いっぱい運動」を行いました。

コロナ禍での生活が2年を過ぎますが、それぞれの地域でマスクを着用するなどの感染対策を取りながら、パンジーやシクラメンなどの花やチューリップの球根などを公民館や公園等に植えました。今年は、昨年よりも実施箇所も増えより多くの方に参加していただきました。コロナ禍で家にいることも多くなっておりますが、散歩など花を見るために出歩く楽しみが増えたことは良かったと思います。

上尾地区コミュニティ推進協議会では、これからも地域コミュニティの活性化を目指し、新型コロナウイルス

感染症の拡大防止のための対策を行いつつ、事業を行ってまいります。

●平方地区コミュニティ推進協議会

平方地区コミュニティ推進協議会の活動で特に毎年秋に実施する『環境フェスティバル』は平方地区内外の皆様が環境をテーマに交流を深める良い機会ですが、『令和』に改元されてからは元年度が台風による平方地区の水害で中止、二年度は新型コロナウイルス感染症で中止となりました。そこで今年度こそはと開催を目指してコロナ禍における新しい形での『環境フェスティバル』を計画しましたが、準備段階でコロナ感染症が第五波となり止む無くフェスティバル開催自体は中止と致しました。しかし準備作業の一つとして『環境』をテーマに平方地区内の小・中学校へポスター募集をしたところ多数の応募があり、環境フェスティバルの事業の一環として審査し優秀作品を選考致しました。

さて、コロナ禍ではこの先も従来の様な形では『環境フェスティバル』をはじめとして様々な事業活動を行うことが難しくなっておりますが、平方地区全体の繋がりがあいを維持する為にも地域の皆様と知恵を絞り、工夫を重ねて参りたいと考えております。

●原市団地コミュニティ推進協議会

コロナ禍がまだ続いておりますが、今の時代どのような行事を実施する

か役員で相談し企画を練っています
が、なかなか良案が決まらなく苦慮
しています。

結局、毎行っているグラウンドゴ
ルフ大会を行いました。

開催日の1月9日は、めずらしく
小春日和で暖かく、今までにない多
数の参加者がありました。大会終了
後、希望者だけで新年会を開催しま
した。久しぶりに明るく楽しい時間
を過ごしました。参加した人達には
景品を渡し、全員喜んで解散しまし
た。

●大石地区コミュニティ推進協議会

大石地区の今年度の活動状況は、
引き続き新型コロナウイルス感染症に大きく
影響を受ける結果となりました。

まず、スタートの総会は、参加者
多数のため書面審査となりました。
計画は例年どおり掲げましたが、こ
の間、コロナ禍が落ち着いていた時
期もありましたが、緊急事態宣言や
年明け後のまん延防止等重点措置の
発令により人流をとまう行事、例
えばウォーキング、視察研修等が中
止せざるを得ない結果となりました。
中でも当地区最大のイベントでも
ある「健康ふれあいウォーキング」
は、理事会を2部構成とし審議、中
には実施せよとの声もありましたが、
総意により同時開催の花一杯運動を
含め中止することとなりました。

一方、この予算は、次期以降に繋
げるための有効活用を図るとの観点
から名入りベストを調達、今後、主

催行事や傘下の各団体がユニホーム
として着用、コミュニティ活動の気
合を揃えての一層の結束を図る観点
からも有効と考えています。

●尾山台団地コミュニティ推進協議会

12月11日(土) 絶好の「散歩日和」
の中、参加者全員、晩秋の見沼代用
水周辺を楽しく歩きました。

ファミリーウォークには、36人が
参加。10時に団地センターを出発し、
団地内5-8号と5-18号棟の間付近
にある今から1800年ぐらい前の
弥生時代から古墳時代の先人の住居
である尾山台遺跡あとを通り、国道
16号のトンネルをくぐり抜け、見沼
代用水縁を瓦葺中方面へ。瓦葺中の
手前を右に行き、瓦葺掛樋へ。尾上
自治会長から掛樋は木で造った樋を
支柱で支え、交差する川を跨いで水
を送る仕組みで、瓦葺掛樋は綾瀬川
を跨いで作られたと解説がありまし
た。

1961(昭和36)年に現在の「川の
下を川が潜る」「伏越式」に改められ
ました。掛樋を見学の後、中学校校
庭に沿った遊歩道を通り、瓦葺中学
校に隣接するふれあい広場でトイレ
休憩の後、上尾伊奈斎場つつじ苑
(火葬場)の脇を通って遊水地へ。
遊水地をちよつと歩いてふれあい広
場に戻り、11時半ごろ尾山台団地に
帰りました。約1時間半のミニハイ
クでした。

第53回シラコバト賞

11月16日に、埼玉会館において「第
53回シラコバト賞」の表彰式が開催
されました。この賞は、彩の国コ
ミュニティ協議会において、日ごろ
から地域のために様々な活動が続け
ている個人・団体に對し、その功績
を顕彰するものです。

市内では、上尾市コミュニティ推
進会議を通じて推薦を受けた、次の
個人7名と2団体が受賞しました。

【個人】 ※敬称略、() は所属。

● 健やかな心身を育てる活動

木村 雅治 (ボイスカウト上尾第13団)

堀井 節子 (上尾市食生活改善推進員協議会)

松澤 順子 (上尾市食生活改善推進員協議会)

● 住みよいふるさとをつくる活動

利曾行 育子 (上尾市交通安全母の会連合会)

大久保 林一 (町谷町内会)

● 心のふれあいを深める活動

新井 清水 (町谷町内会)

● 心のふれあいを深める活動

関 光代 (畔吉新田自治会)

● 【団体】 ※敬称略、() は所属。

● 心のふれあいを深める活動

古切手整理グループ
(社会福祉法人上尾市社会福祉協議会)

ブルメリア (西上尾第一団地)



上尾市コミュニティ推進会議加入団体一覧

上尾地区コミュニティ推進協議会	上尾市自治会連合会
平方地区コミュニティ推進協議会	上尾市民生委員・児童委員協議会
原市地区コミュニティ推進協議会	上尾市環境美化推進員連合会
大石地区コミュニティ推進協議会	上尾市スポーツ協会
上平地区コミュニティ推進協議会	上尾市交通安全協会
大谷地区コミュニティ推進協議会	上尾市交通安全母の会連合会
原市団地コミュニティ推進協議会	上尾市いきいきクラブ連合会
尾山台団地コミュニティ推進協議会	上尾市母子愛育会
西上尾第一団地コミュニティ推進協議会	上尾市自警消防団運営連絡協議会
西上尾第二団地コミュニティ推進協議会	上尾市青少年育成連合会
上尾市子ども会育成連合会	上尾市補導委員連絡協議会
上尾市文化団体連合会	上尾市PTA連合会
上尾市社会福祉協議会	